



校訓 「誠実の人となれ」

山梨県立農林高等学校のスクールポリシー

本校の将来ビジョン

- ・誠実にたくましく生きる人材育成
- ・キャリア教育と職業教育の実践
- ・関連産業と地域に貢献する

GP (グラデュエーションポリシー)

→卒業までに身に付ける力

- ・協働する力
- ・想像力 創造力
- ・課題解決能力
- ・豊かな人間力

CP (カリキュラムポリシー)

→本校が展開する教育活動

- ・「生命・環境・食」に関する実践的な活動
- ・キャリア形成の活動
- ・地域との連携・協働を重視した活動

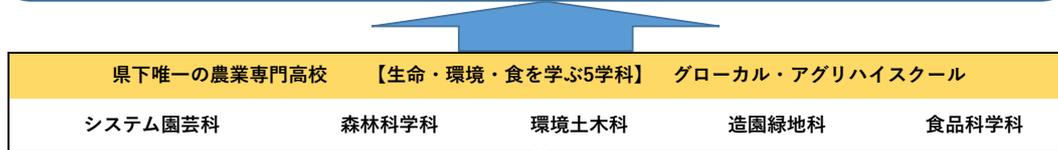
AP (アドミッションポリシー)

→本校が求める生徒像

- ・基本的な生活習慣を身に付けている
- ・本校の専門教育に関心を持っている
- ・学ぶ意欲が高い

【育成したい資質・能力】 ・豊かな人間力「誠実」 ・協働する力 ・課題解決能力

県内唯一の伝統ある農業専門高校として、「生命・環境・食」を育む教育を主な柱として、新しい時代に必要となる資質・能力を育成し、地域の産業人材を地域とともに育てる学校を目指します。



- 【特色ある教育】
- マイスター・ハイスクール事業の成果を生かした人材育成の推進
 - 緑のスクールパーク 庭園、農場のある広大なキャンパス
 - 農村黎明の鐘 朝に祈り夕に感謝 未来像を描く
 - 基礎(計算)力育成
 - 実践的な専門教育 実験実習が多く実際のな学び
 - 安全教育(交通・防災)
 - キャリア教育 資格取得
 - 農業クラブ 家庭クラブ
 - レベルアップタイム
 - 農林大学校、山梨学院短大との教育連携
 - GAP(農業生産工程管理) 認証農場
 - 国際交流を通じたグローバル人材の育成

○あきらめず最後までやり通す学ぶ意欲の高い生徒を育成する (知)

○忍耐強くたくましい体力と健康習慣を持った生徒を育成する (体)

○礼儀を重んじ、相手を思いやる豊かな心を持った生徒を育成する (徳)

○地域における支え合いのつながりを大切にできる生徒を育成する (地域連携)

【外部機関との連携】

インターンシップ、デュアルシステム、関係機関との連携で高校生が学びを深化させる

- 企業、JA、森林組合等
- 行政機関、教育機関等

【地域との連携・協働】

さまざまな学びを活かし地域と学校のパートナーシップに基づく連携・協働を進展させる

- 学校運営協議会の設置
- 教科の学びを活かした地域活動
- 部活動でのボランティア活動
- 収穫感謝祭
- 幼保園児、中学生との活動

令和7年度の指導重点

教科指導 進路指導 生徒指導 健康安全教育 特色ある教育活動

未来を拓く生徒の主体的取り組みづくり

1 学習指導の方法を工夫し学びへの興味・関心を高める

目標に準拠した指導と評価を実践する。「個別最適な学び」・「協働的な学び」の授業実践に取り組む。授業等へのICT機器活用を推進する。朝読書、レベルアップタイム、学びの基礎診断等の指導を通して、学習習慣と基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着を図る。

2 生徒一人一人を進路実現に導く

体験的な教育活動とおして自己の在り方、生き方を考えさせる。組織的・体系的なキャリア教育を実践する。ホームルーム・学年・学科・進路指導係などの緊密な連携のもと、進路指導に取り組む。

3 信頼関係に基づいた生徒指導を行う

ホームルームにおける集団づくりを充実させるとともに、全教職員の意思疎通のもと、指導体制を確立する。「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を的確に行う。生徒の悩み・相談に丁寧に接し、生徒理解に努めるとともに共感的な人間関係を築く。

4 心身の健康を図り、安全教育を推進する

基本的な生活習慣の確立を目指し、健康で規律ある学校生活が送れるよう指導する。体育・文化・委員会の活動に積極的に参加させ、夢と感動のある学舎を実現する。交通安全や防災・防犯の指導を充実し、生徒の実践的な防災行動の定着を図る。

5 特色ある教育活動を推進する

農業クラブ・家庭クラブの活動とおして、向上心、探究心、自主・自立、連帯の精神を養う。各学科の特色を生かして積極的な資格取得を奨励し、スペシャリストを育成する。プロジェクト学習を充実し、課題解決能力を育成する。「先人に学ぶ」教育活動とおして本校の歴史・伝統を理解するとともに、多様な文化を理解する態度を育てる。農林大学校・大学等との連携を強化し、専門教科や探究学習の充実を図る。